

グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）1 グリーンエネルギーCO₂削減計画（実績）1. 1 グリーンエネルギーCO₂削減計画の名称

バイオマス熱（木質バイオマス）熱利用施設を利用した熱生成によるCO₂排出削減

1. 2 グリーンエネルギーCO₂削減計画に関わる設備（詳細）

別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」1. 参照。

1. 3 グリーンエネルギーCO₂削減計画に適用される方法論

注1) 本計画に適用される方法論にチェックすること。

チェック	種別方法論 番号	種別方法論名称
<input type="checkbox"/>	P001	風力発電
<input type="checkbox"/>	P002	太陽光発電
<input type="checkbox"/>	P003-1	バイオマス発電（鶏糞、バガス等）
<input type="checkbox"/>	P003-2	バイオガス発電
<input type="checkbox"/>	P003-3	木質バイオマス発電
<input type="checkbox"/>	P004-1	河川に設置する新設水力発電
<input type="checkbox"/>	P004-2	既設設備等に付加して設置される水力発電
<input type="checkbox"/>	P004-3	離島の河川に設置された既設水力発電
<input type="checkbox"/>	P005	地熱発電
<input type="checkbox"/>	H001-1	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（単独供給方式））
<input type="checkbox"/>	H001-2	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（複数供給方式））
<input type="checkbox"/>	H001-3	太陽熱（太陽熱利用セントラルシステム（給湯・暖房））
<input checked="" type="checkbox"/>	H002-1	バイオマス熱（木質バイオマス熱利用システム）
<input type="checkbox"/>	H002-2	バイオマス熱（木質バイオマス蒸気供給施設（熱電供給システム））
<input type="checkbox"/>	H002-3	バイオガス熱
<input type="checkbox"/>	H002-4	バイオマス熱供給施設
<input type="checkbox"/>	H003	雪氷エネルギー（熱交換冷水循環式雪氷エネルギー施設）

1. 4 グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定

注1) 「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法を記載すること。

注2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の個別の値（実績）については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」3. 参照。

$$Q_{WB} = Q_{BL} - (E_{PS} \times 9.484 [\text{MJ}_{\text{HHV}} / \text{kWh}]^*)$$

$$S_B = F_B \div F_T$$

$$EM_{WB} = Q_{WB} \times S_B \times (CE_{\text{fuel, BL}} \div \epsilon_{BL})$$

記号	定義	単位
Q_{WB}	バイオマス熱生成実施期間における生成熱量から補機消費電力量を一次エネルギー換算した熱量を除いた熱量	MJ_{HHV}
Q_{BL}	バイオマス熱生成実施期間における生成熱量	MJ_{HHV}
E_{PS}	バイオマス熱生成実施期間における補機消費電力量	kWh
EM_{WB}	バイオマス熱生成実施期間における排出削減量	kgCO_2
$CE_{\text{fuel, BL}}$	バイオマス熱生成実施期間における代替される燃料の単位発熱量当たりの二酸化炭素排出係数	$\text{kgCO}_2 / \text{MJ}_{\text{HHV}}$
ϵ_{BL}	バイオマス熱生成実施期間における代替される熱源設備のエネルギー消費効率（高位発熱量ベース）	%
S_B	投入燃料に占めるバイオマス比率	%
F_B	バイオマス熱生成に使用したバイオマス燃料	MJ
F_T	バイオマス熱生成に使用した燃料合計	MJ

1. 5 グリーンエネルギーCO₂削減計画の認証申請期間

開始日 2019年4月1日

終了日 2022年3月31日

注) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施期間については、別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」5.に記載すること。

1. 6 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画からの変更項目

注) 変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

あり

(1) あわら温泉4・5号木質バイオマス設備「スンリン・ナヘル」

「変更項目：設備名名称、発電設備容量、運転開始日」（別途変更申請提出済）

2 グリーンエネルギー運営・管理計画（実績）

2. 1 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者によるモニタリング方法及び報告方法

注1) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者におけるモニタリング方法、及び当該実施者から運営・管理者への報告方法（体制）を記載すること。

注2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業のモニタリング責任者及び実施者については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト」4.参照。

注3) 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点がある場合はその旨記載すること。なお、変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

(1) グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者（熱生成事業者）

【1】毎月末または毎四半期末において、モニタリング実施者およびモニタリング責任者にて、日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料など、グリーン熱生成熱量を算出するために必要となる資料を作成する。

【2】毎月初めまたは毎四半期初めにおいて、メール・FAX・郵送などにより、グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者より運営・管理者へ報告する。

(2) 運営・管理者（証書発行事業者：日本自然エネルギー株式会社）

【1】グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者から受領したデータをもとに、各四半期のグリーン熱生成熱量を算出する。

【2】算出したグリーン熱生成熱量について、検証機関による検証終了後、グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証委員会事務局へ報告する。

なお、グリーン電力発電電力量の計量体制を様式3-2別紙添付に示す。

2. 2 モニタリングの対象及び方法

注1)「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の5. 算定根拠に係るモニタリング方法に掲げられている記号と、それに係る定義、単位、モニタリング方法を記載すること。

記号	定義	単位	モニタリング方法
Q _{BL}	バイオマス熱生成実施期間における生成熱量	MJ _{HHV}	熱の供給先からのグリーン熱受け入れ実績報告書に記載される熱量
E _{PS}	バイオマス熱生成実施期間における補機消費電力量	kWh	なし
CE _{Fuel, BL}	バイオマス熱生成実施期間における代替される燃料の単位発熱量当たりの二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /MJ _{HHV}	デフォルト値を使用 ・燃料の種類：灯油 二酸化炭素排出係数：0.0678tCO ₂ /GJ なお、資源エネルギー庁『一般ガス事業者供給区域エリアマップ』により、都市ガス供給エリアに含まれていないことを確認。
E _{BL}	バイオマス熱生成実施期間における代替される熱源設備のエネルギー消費効率（高位発熱量ベース）	%	デフォルト値を使用 ボイラーの設備効率98%（低位発熱量ベース）
F _B	熱生成に使用した木質バイオマス	MJ	グリーン熱受け入れ実績報告書における受け入れ熱量。なお、助燃剤は使用されていないため、バイオマス比率は100%とする。
F _T	熱生成に使用した燃料合計	MJ	グリーン熱受け入れ実績報告書における受け入れ熱量。なお、助燃剤は使用されていないため、バイオマス比率は100%とする。

3 グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）

3. 1 グリーンエネルギーCO₂削減相当量保有予定者に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」1. 参照。

3. 2 環境価値が除かれた電気価値・熱価値の帰属先に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」2. 参照。

様式3-2別紙1 事業リスト

No	認定番号	1. 事業所に関する情報							2. 追加特に関する情報		3. グリーンエネルギーCO2削減相当量の算定に関する情報										4. モニタリング責任者及び実施者に関する情報		5. 認証申請期間			
		1.1 熱設備名称	1.2 熱設備所在地	1.3 型式	1.4 設備容量	1.5 運転開始(予定)年月日	1.6 系統/自家消費	1.7 受電地点特定番号(2桁)	(a)当該設備の建設における主要な要素 (b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献 (c)当該設備以外のグリーン電力の拡大に貢献	(参考)申請期間における全生成熱量(MJHHV)※1	3.1 生成熱量 GBL(MJHHV)	3.2 補償消費電力量(EPS(kWh))	3.3 生成熱量から補償消費電力量を一次エネルギー換算した値を控いた熱量QWB(MJHHV)	3.4 代替される燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数(DEFuelBL(kgCO2/MJHHV))	3.5 代替される熱設備のエネルギー消費効率(η BL(%))	3.6 バイオマス燃料FB(MJ)	3.7 燃料合計FT(MJ)	3.8 バイオマス比率SB(%)	3.9 二酸化炭素排出係数(DEFlectricity(kgCO2/kWh))	3.10 排出削減量EMWB(kgCO2)	3.11 排出削減量(CO2)	4.1 モニタリング責任者	4.2 モニタリング実施者	5.1 開始日(yyyy年m月d日)	5.2 終了予定日(yyyy年m月d日)	
1	17-BA-001	あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2019年度)	福井県あわら市舟津43-26	チップボイラー	0.72GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	4,261,952	4,261,000	0	4,261,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	313,609	313			2019年4月1日	2020年3月31日	
2	17-BA-001	あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2021年度)	福井県あわら市舟津43-26	チップボイラー	0.72GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	4,544,096	4,542,000	0	4,542,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	334,291	334			2021年4月1日	2022年3月31日	
3	17-BA-001	あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2023年度 第1四半期～第3四半期)	福井県あわら市舟津43-26	チップボイラー	0.72GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	3,063,872	3,063,000	0	3,063,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	225,436	225			2023年4月1日	2023年12月31日	
4	17-BA-001	【旧デフォルト値 67日/91日】あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2023年度 第4四半期)	福井県あわら市舟津43-26	チップボイラー	0.72GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	875,677	644,230	0	644,230	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	47,415	47			2024年1月1日	2024年3月7日	
	17-BA-001	【新デフォルト値 24日/91日】あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2023年度 第4四半期)	福井県あわら市舟津43-26	チップボイラー	0.72GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献		230,770	0	230,770	0.0678	0.92961	-	-	100.00%	0.0729	16,823	16			2024年3月8日	2024年3月31日	
5	17-BA-002	あわら温泉4-5号木質バイオマス熱設備「スリン・ナヘル」(2019年度)	福井県あわら市舟津26-10	チップボイラー	2.16GJ/h	平成29年7月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	8,647,543	8,645,000	0	8,645,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	636,272	636			2019年4月1日	2020年3月31日	
6	17-BA-002	あわら温泉4-5号木質バイオマス熱設備「スリン・ナヘル」(2021年度)	福井県あわら市舟津26-10	チップボイラー	2.16GJ/h	平成29年7月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	5,861,453	5,860,000	0	5,860,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	431,296	431			2021年4月1日	2022年3月31日	
7	17-BA-003	東尋坊温泉2-3号木質バイオマス熱設備「ウータン・シルフ」(2019年度)	福井県坂井市三田町緑が丘4丁目4-8	チップボイラー	0.864GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	4,481,030	4,480,000	0	4,480,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	329,728	329			2019年4月1日	2020年3月31日	
8	17-BA-003	東尋坊温泉2-3号木質バイオマス熱設備「ウータン・シルフ」(2021年度)	福井県坂井市三田町緑が丘4丁目4-8	チップボイラー	0.864GJ/h	平成29年1月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	3,263,856	3,263,000	0	3,263,000	0.0678	0.92022	-	-	100.00%	0.0736	240,156	240			2021年4月1日	2022年3月31日	
9	14-BB-001	津別峠協同組合バイオマスエネルギーセンター(2022年度)	北海道網走郡津別町津美168番地	自然循環式ボイラー	181.1GJ/h	平成19年11月	自家消費	-	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	464,955,896	464,952,918	6,621,670	402,153,000	0.0693	0.92512	-	-	100.00%	0.0749	30,121,259	30,121			2022年4月1日	2023年3月31日	
																			合計			32,692				

※1 申請期間における全生成熱量の内、一部の生成熱量について本申請の対象とするケースを考慮し、当該値を報告ください。

「申請期間における全生成熱量」＝「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証における申請生成熱量」の場合のみ、「3.1 生成熱量 GBL(MJHHV)」と同値を記載ください。

(同期間において、重複したグリーンエネルギーCO2削減相当量認証申請がなされていないか、チェックするために記載いただきます。)

	認定可能熱量	(参考)申請期間における全生成熱量(MJHHV)※1	3.1 生成熱量 GBL(MJHHV)	3.2 補償消費電力量(EPS(kWh))	3.3 生成熱量から補償消費電力量を一次エネルギー換算した値を控いた熱量QWB(MJHHV)	3.4 代替される燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数(DEFuelBL(kgCO2/MJHHV))	3.5 代替される熱設備のエネルギー消費効率(η BL(%))	3.6 バイオマス燃料FB(MJ)	3.7 燃料合計FT(MJ)	3.8 バイオマス比率SB(%)	3.9 二酸化炭素排出係数(DEFlectricity(kgCO2/kWh))	3.10 排出削減量EMWB(kgCO2)	3.11 排出削減量(CO2)	認証可能熱量	
														認証対象熱量(申請分)	認証対象熱量
あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2019年度)	4,261,952	4,261,952	4,261,952	0	4,261,952	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	313,679	313	4,261,952	4,261,952
あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2021年度)	4,544,096	4,544,096	4,544,096	0	4,544,096	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	334,445	334	4,544,096	4,544,096
あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2023年度 第1四半期～第3四半期)	3,063,872	3,063,872	3,063,872	0	3,063,872	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	225,500	225	3,063,872	3,063,872
【旧デフォルト値 67日/91日】あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2023年度 第4四半期)	875,677	644,729	644,729	0	644,729	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	47,452	47	644,729	644,729
【新デフォルト値 24日/91日】あわら温泉1号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」(2023年度 第4四半期)	875,677	230,947	230,947	0	230,947	0.0678	0.92961	-	-	100%	0.0729	16,836	16	230,947	230,947
あわら温泉4-5号木質バイオマス熱設備「スリン・ナヘル」(2019年度)	8,647,543	8,647,543	8,647,543	0	8,647,543	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	636,459	636	8,647,543	8,647,543
あわら温泉4-5号木質バイオマス熱設備「スリン・ナヘル」(2021年度)	5,861,453	5,861,453	5,861,453	0	5,861,453	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	431,402	431	5,861,453	5,861,453
東尋坊温泉2-3号木質バイオマス熱設備「ウータン・シルフ」(2019年度)	4,481,030	4,481,030	4,481,030	0	4,481,030	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	329,803	329	4,481,030	4,481,030
東尋坊温泉2-3号木質バイオマス熱設備「ウータン・シルフ」(2021年度)	3,263,856	3,263,856	3,263,856	0	3,263,856	0.0678	0.92022	-	-	100%	0.0736	240,219	240	3,263,856	3,263,856
津別峠協同組合バイオマスエネルギーセンター(2022年度)	402,155,575	464,955,896	464,952,918	6,621,713	402,155,575	0.0693	0.92512	-	-	100%	0.0749	30,121,452	30,121	402,155,575	402,155,575

種別方法論名称： バイオマス熱（木質バイオマス熱利用システム）

発電所名称： 東尋坊温泉2・3号木質バイオマス熱設備「ウータン・シルワ」

1. 計量体制

計量体制(管理体制)	
(1)計量器維持・管理	
責任者	実施者
■■■■■ ■■■ ■■■ ■■■	■■■■■ 取締役 大城 謙治
(2)データの測定	
責任者	実施者
■■■■■ ■■■ ■■■ ■■■	■■■■■ ■■■ ■■■ ■■■
(3)報告書の作成	
報告書作成者	■■■■■ ■■■ ■■■ ■■■
報告書最終承認者	■■■■■ ■■■ ■■■ ■■■
報告書受領者（証書発行事業者）	■■■■■ ■■■ ■■■

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
Q _{BL}	バイオマス熱生成実施期間における生成熱量	熱の供給先からのグリーン熱受け入れ実績報告書に記載される熱量	グリーン熱受け入れ実績報告書
E _{PS}	バイオマス熱生成実施期間における補機消費電力量	なし	なし
S _B	投入燃料に占めるバイオマス比率	グリーン熱受け入れ実績報告書における受け入れ熱量。なお、助燃剤は使用されていないため、バイオマス比率は100%とする。	なし

検証結果報告書（実績）

2025年5月16日

日本自然エネルギー株式会社
代表取締役社長 加藤 圭輝 殿

東京都千代田区神田須田町1-25
JR 神田万世橋ビル
一般財団法人日本品質保証機構
理事 浅田 純男

一般財団法人日本品質保証機構は、日本自然エネルギー株式会社が作成した「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証申請書」（排出削減事業の名称：バイオマス熱(木質バイオマス)熱利用施設を利用した熱生成によるCO2排出削減、日付2025年4月28日）について、「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度運営規則」（2025年3月7日経済産業省・環境省）に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2削減計画名	バイオマス熱(木質バイオマス)熱利用施設を利用した熱生成によるCO2 排出削減
グリーンエネルギーCO2削減計画申請者名	日本自然エネルギー株式会社
事業実施場所	① 福井県あわら市舟津 26-10 ② 福井県坂井市三国町緑が丘 4 丁目 4-8 ③ 福井県あわら市舟津 43-26
事業の概要	① あわら温泉 4・5 号木質バイオマス熱設備「スンリン・ナヘル」 ② 東尋坊温泉 2・3 号木質バイオマス熱設備「ウータン・シルワ」 ③ あわら温泉 1 号木質バイオマス熱設備「ヴァルト」
グリーンエネルギーCO2削減相当量の計画	「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画」段階では保有予定者は未定で申請がされていたが、今回実績報告においては、様式 3-2 別紙 2 の配分計画（実績）のとおり
申請期間	2019 年 4 月 1 日 2024 年 3 月 31 日
方法論	$Q_{WB} = Q_{BL} - (EPS \times 9.484 [MJ_{HHV}/kWh]^*)$ $S_B = F_B + F_T$ $EM_{WB} = Q_{WB} \times S_B \times (CEF_{fuel, BL} + \epsilon_{BL})$

2. 検証結果

以下に示す実施した検証手続きの概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO₂削減相当量については、「グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度運営規則」に定める要件及び「方法論」並びに当機構が定めた「方法論に関する追加要件」に適合しているものと判断できる。

なお、詳細については「CO₂削減相当量検証結果一覧表」に示す。

3. 実施した検証手続きの概要

<p>排出削減量の実績及びグリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画が示され、かつ当該内容が運営規則及び方法論に適合していること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 排出削減量の実績は、様式3-2別紙1により確認でき、また、配分計画は、様式3-2別紙2により、排出削減相当量保有予定者及び保有予定量を確認でき、残りの実績量については配分予定なしを確認した。 排出削減量の算定において、「グリーン熱種別方法論（H002-1 バイオマス熱）5. 算定根拠に係るモニタリング方法」に基づき、既設であることから「方法2」を選択してデフォルト値を用いていること、また、「グリーン熱種別方法論（H002-1 バイオマス熱）4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」の計画に基づき算定されていることを確認し、適合しているものと判断できる。
<p>認定グリーンエネルギーCO₂削減計画、グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証申請書のとおり確実に電力量又は熱量が算定され、かつ算定された電力量又は熱量に基づき方法論に従って正確にグリーンエネルギーCO₂削減相当量が算定されていること</p>	<p>「グリーン熱種別方法論（H002-1 バイオマス熱）」に基づき、計画申請時に提示されたモニタリング方法のとおり、申請者提出の資料により、別紙「CO₂削減相当量検証結果一覧表」のとおり算定結果を確認した。</p> <p>以上より、今回の実施期間における算定結果は、方法論に基づいて、正確にグリーンエネルギー削減相当量が算定されていると判断できる。</p>
<p>グリーンエネルギーCO₂削減相当量が適切に配分されていること</p>	<p>今回、グリーンエネルギーCO₂削減相当量の配分先は様式3-2別紙2により確認でき、適切に配分されているものと判断できる。</p>
<p>各グリーンエネルギーCO₂削減事業が適切に管理され、モニタリング対象となる項目が正確に把握されていること</p>	<p>様式3-2グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）「2. グリーンエネルギー運営・管理計画（実績）」に基づき、様式3-2別紙1添付のとおり、計量体制が実施されていることが提出資料により確認ができ、モニタリング対象項目も提出資料により正確に把握されていることが確認できる。</p>
<p>認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点（グリーンエネルギー</p>	<p>あわら温泉4・5号木質バイオマス設備「スンリン・ナヘル」の減設および名称変更あり。別途、計画変更申請の提出を確認しており、計画変更申請にて内容の確認を行っている。</p>

CO2 削減事業の追加を含む。) について、運営規則及び方法論に照らし適切であること	
--	--

(添付資料)

- ・ 3. の各項目の根拠資料

【検証機関作成資料】

- ・ CO2 削減相当量検証結果一覧表

【申請者作成資料】

- ・ 様式 3-1、3-2、3-2 別紙 1、3-2 別紙 1 添付、3-2 別紙 2
- ・ 熱実績管理表
- ・ 熱量認証一覧